職員による自己評価の集計結果につきまして、以下の通り開示いたします。 より良いサービス提供のため、今後も職員一同さらなる資質向上に努めて参ります。

事業所名	親園事業所 学童保育 <回収件数5件>
評価基準	A・・・大変良くできていると感じる B・・・完璧とまではいかないものの、おおむね良いと感じる C・・・まだまだ改善点が多いように感じ、今後改善したい 非・・・非該当であるため、回答なし

1. 所属部門の業務について

質問事項	Α	В	С	非
利用者へ丁寧に関われている	4	1	0	0
利用者のつばさでの様子を保護者へ良く伝えている	2	1	1	1
利用児は嫌がることなく、楽しく通えている	3	1	0	1
活動内容(プログラム)がしっかりとしている	2	2	0	1
専門指導や個別指導など、希望に沿って提供できている	2	0	1	2
給食は、味つけ・分量・色どり・栄養バランス・価格等が良い	2	1	0	2
送迎では危険や不安を感じず、安心して利用してもらえている	3	1	0	1
サービスに関する要望等にきめ細やかに対応している	2	2	0	1
事業所都合ではなく、利用者本位のサービス提供をしている	1	3	0	1
個別支援計画は、利用者の実情とニーズに応じた内容である	0	0	0	5
個別支援計画は、適切なサイクルで作成し、控えを渡している	1	0	0	4
自由記述欄				

- ■利用者のつばさでの様子を伝えることでは、改善をしていきたい。 お迎え時の保護者の気持ちになって考え、伝える事の重要さを共有していきたい。
- ■子どもと遊ぶことが増えてきている。 全体的な動きを見ながら遊べるとより良くなると思います。
- ■つばさでの様子を保護者へ伝えたり、意識して業務に取り組めてきていると思う。

2. 接遇について

質問事項	Α	В	С	非
挨拶を欠かさないなど、礼儀正しく応対している	2	3	0	0
言葉づかいが正しく、物腰柔らかで丁寧な言い方をしている	2	3	0	0
明るく元気で、愛想良く笑顔で応対している	2	2	1	0
姿勢・態度・立ち居振る舞いなどが謙虚である	1	4	0	0
身だしなみが整っており、清潔感がある	2	3	0	0
利用者や保護者に対し、親身になって相談にのっている	2	2	0	1
利用者や保護者から要望を受けたら、即対応している	3	1	0	1
自 由 記 米 欄				

- ■指示に対して、とても素直に受け入れてくれて、とても助かっている。■挨拶など基本的な社会人としてのマナーや職員としての立場を自覚できるように、 日々、伝えていきたい。
- ■礼儀正しく、丁寧に接していると思う。

3. 建物・環境について

質 問 事 項	Α	В	С	非
清掃・環境整備が行き届いており、きれいな環境である	1	4	0	0
建物・敷地内は安全が確保されており、安心できる環境である	2	3	0	0
掲示物などの装飾品は最小限に抑えられている	3	2	0	0
感染症の対策(消毒・除菌・加湿・換気など)が十分に講じられている	1	3	0	0
視覚的にわかりやすい表示の工夫が施されている	2	2	0	1
活動部屋や庭は十分なスペースが確保されている	2	2	1	0

自由記述欄

- ■下駄箱やホールの床など、掃除を良く行ってくれている。 おもちゃの修理なども良く行ってくれている。
- ■全体的に、もっとすっきりとした保育空間になるよう工夫していきたい。
- ■利用人数が多い場合、十分なスペースの確保が難しい場合もある。

4. 情報提供・管理について

質問事項	Α	В	С	非
つばさだより・月案・説明会等を通じ、子育てに関する情報発信がある	3	1	0	1
ほけんだより等を通じ、健康管理・感染症対策に関する情報発信がある	4	1	0	0
個人情報の取り扱いについて、きちんと管理されている	4	1	0	0
開かれた運営で、どんなことをしているかが見えるようにしている	1	4	0	0
自 由 記 沭 爛				

- 2階の学童室の様子が保護者からは見れないので、気になる保護者もいると思います。
- ■つばさだよりや活動報告などをしているが、保護者に伝わっていない所もある。

5. その他

質問事項	Α	В	С	非
研修や学びの機会を多く与えられている	3	1	1	0
スキルアップのために絶えず勉強している	1	2	1	1
サービスの提供に係る知識や技能を十分に有している	0	2	2	1
業務改善の意識を高くもち、常に効率的・効果的な方法を実践している	2	3	0	0
予習型で仕事を進め、段取り良く計画的な業務遂行をしている	1	2	1	1
現在の仕事にやりがいや使命感をもって臨めている	2	3	0	0
悩みやストレスを感じた際、職場内に相談する相手がいる	3	2	0	0
自由記述欄				

- ■打合せや振り返りなどで、研修の共有を行うことができた。 また、悩み等の話し合いの場を設けることができた。
- ■年に何回かでも、部門にあった研修が定期的にあるとよいと思う。

